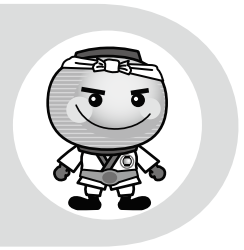


せんそう お

戦争が終わってからの

とばた ようす

戸畑の様子をのぞいてみよう！



①まちなみの様子

ようす

しょうわ ねんだい ねん ねん とばた しゃたく
昭和30年代（1955年～1964年）の戸畑は、社宅（※）の

まちといわれたほどに、あちこちに社宅がありました。写真でも、同じ形をした建物がきれいにならんでいます。

このころ、戸畑の人口は10万人をこえていました。人口が増えるのに合わせて、住宅や道路の工事もさかんに行われました。



しょうわ ねんだい ねん ねん やはたせいてつしよ
昭和20年代(1945年～1954年)の八幡製鐵所
さやがたにしゃたく てまえ さやがたにしょうがっこう
の鞘ヶ谷社宅。手前は鞘ヶ谷小学校です。

やはたひがしく はくぶつ
八幡東区の「いのちのたび博物
館」には、昭和30年代の戸畑の社
宅をそのまま再現したコーナーが
あります。



ねん しょうわ ねん めいじがくえんまえ どうろ
1958年（昭和33年）明治学園前の道路
こうじ
工事



ねん しょうわ ねん おおたに じゅうたくち せい
1959年（昭和34年）大谷での住宅地の整
び
ようす
備の様子



しょうわ ねんだい とばた しゃたく
昭和30年代ごろの戸畑の社宅

～戸畑の自慢、まごじ凧のふしぎをさぐろう～

とばた う し たけうちまごじ
戸畑から生まれたおもちゃがあることを知っていますか。竹内孫次さんと
たご めいじん う だ たご たご
いう凧づくりの名人が生み出した「まごじ凧」という凧です。

「まごじ凧」は、普通の凧とちがい、ビニールやプラスチックなどの加工
ひん つか たけ わし しぜん
品をまったく使わずに、竹ひごや和紙など自然のものだけでつくりあげます。
あい たご ど く にんき
愛らしいセミ凧は、きょう土がん具（※）として人気があります。

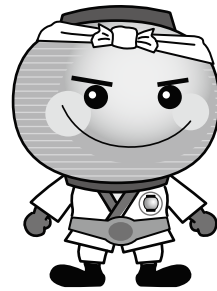
げんざい まごじ まご よしひろ う
現在は、孫次さんの孫の義博さんが受けついでつくっています。



しゃたく しゃいん かぞく かいしゃ いえ
社宅…社員とその家族のために、会社がつくった家。

ど く じぶん う つか
きょう土がん具…自分のふるさとで生まれ、よく使われているおもちゃ。

せんご
戦後、どのようにして
こうつう はったつ
交通が発達したのかな？



ねん しょうわ ねん とばたわしたばまえ
1959年(昭和34年)の戸畑渡場前のバス



ねん しょうわ ねん ろめんでんしゃさいわいまち
1958年(昭和33年)の路面電車(幸町)
でんしゃ ねん しょうわ ねん
電車は1985年(昭和60年)になりました。



きしゃ でんしゃ てつどう とばたえき ねん しょうわ ねん
汽車から電車になった鉄道(戸畑駅1963年(昭和38年))

せんそう お とばた こうじょう
戦争が終わってから、戸畑のまちでは工場
しごと
の仕事がさらにさかんになりました。それに
ともなって、バスや路面電車、鉄道、若戸渡
せん どうろ こうつう べんり
船、道路など、交通はますます便利になり、
わかまつ こくら やはた い
若松や小倉、八幡へ行きやすくなりました。
とく とばたえき かもつ と ぜんごく
特に戸畑駅は、貨物の取りあつかいが全国
で9位(1960年)に入るほどにぎわって
い
ました。



ねん しょうわ ねん わかどとせん
1955年(昭和30年)ごろの若戸渡船
みぎ ひと はこ わかどまる ま なか じどうしゃ はこ
右は人を運んだ「若戸丸」、真ん中は自動車を運んだ
かもつきせん ひだり かんこうせん まる
貨物汽船、左は観光船「くき丸」



けんせつちゆう わかとおおはし ねん
建設中の若戸大橋(1961年ごろ)
ねん しょうわ ねん かんせい どうじ どうよういち おお
1962年(昭和37年)完成。当時は、東洋一の大きさ
のつり橋でした。

ひとひと せいかつ ようす
③人々の生活の様子

とばた じんこう ふ げすいどう すいせんしき こうしゅう ととの
 戸畑のまちでは、人口が増えるにつれ、下水道や水洗式の公衆トイレなどが整えられていきました。
 た。また、しみん あんしん ゆた せいかつ しみんかいかん しせつ
 市民が安心して豊かな生活ができるように、市民会館などの施設もつくられました。
 家庭では、かてい れいぞうこ せん き でんかせいひん ひろ せいかつ べんり
 家庭では、テレビや冷蔵庫、洗たく機などの電化製品が広がり、生活がだんだん便利になって
 きました。



ねん しょうわ ねん かんせい しみんかいかん
 1960年(昭和35年)完成の市民会館
 (文化ホール)



ねん しょうわ ねん かていよう ばこ
 1960年(昭和35年)ごろの家庭用ごみ箱



ねん しょうわ ねん とばたわたしば
 1960年(昭和35年)戸畑渡場
 前の下水道工事



しょうわ ねんだい ねん ねん か もの ようす
 昭和30年代(1955年~1965年)ごろの買い物の様子



ねん しょうわ ねん あそうどお
 1959年(昭和34年)の浅生通りふきん



ねん しょうわ ねん
 1960年(昭和35年)ごろのテレビ
 まつしたでんきれきしかんていきょう
 (松下電器歴史館提供)



ねん しょうわ ねん あし
 1948年(昭和23年)ごろの足踏みミシン
 じゃ め こうぎょうかぶしきがいしゃていきょう
 (蛇の目ミシン工業株式会社提供)

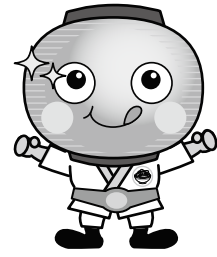
しょうてんがい
 商店街には、アーケードができ、にぎわっていました。



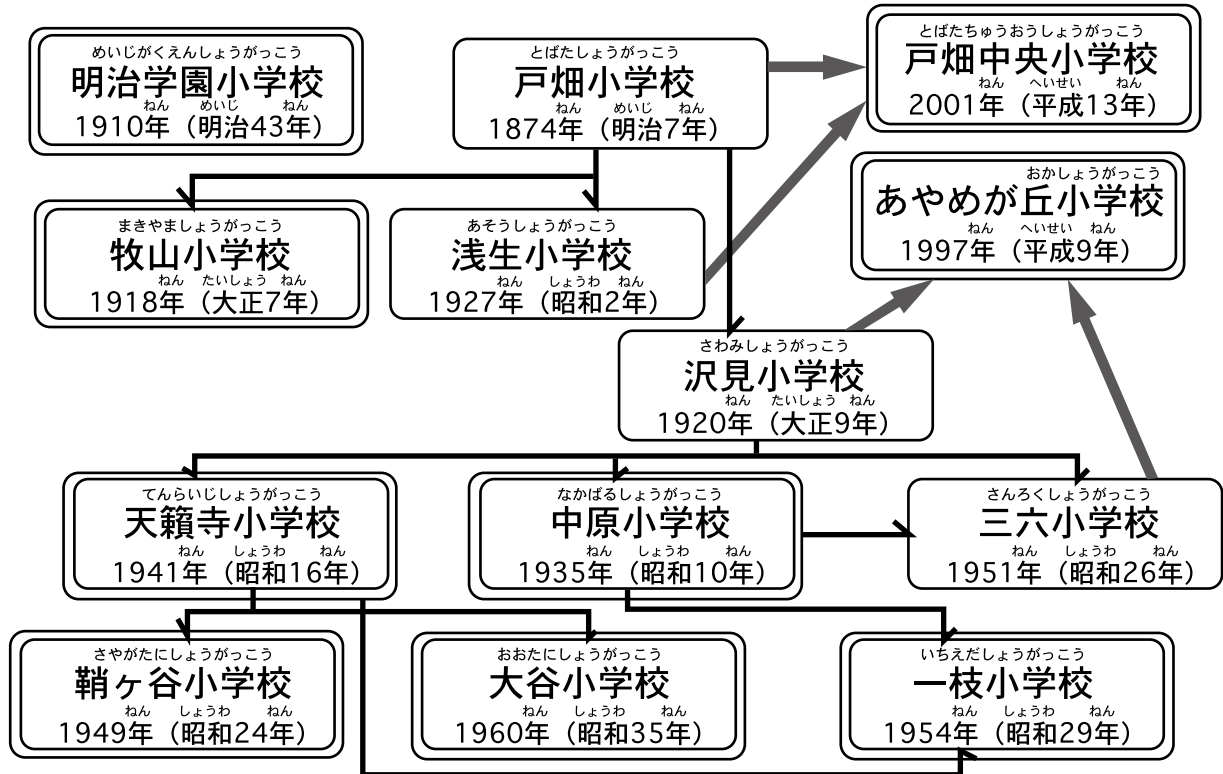
ねん しょうわ ねん なかほんまちしょうてんがい
 1958年(昭和33年)の中本町商店街

とばた しょうがっこう
④戸畑のまちの小学校のうつりかわり

みんなの
 かよ しょうがっこう
 通っている小学校は、
 いつごろできたのかな？



えどじだい まで、こどもたちはお寺や民家で勉強をしていましたが、1872年（明治5年）に教育制度(※)ができると、学校がつくられ、学校で勉強するようになりました。戸畑で初めてつくられた学校は戸畑小学校です。1874年（明治7年）に民家を借りて授業を始めました。その2年後に、いまきたとりはたまち しょうようじ けいだい かいこう
 今の北鳥旗町にある照養寺の境内(※)に開校しました。



むかし とばたく しょうがっこう ふうけい ねん しょうわ ねん ようす
 ~昔の戸畑区の小学校の風景 1960年(昭和35年)ごろの様子~



きゅうしょく
 給食



うんどうかい
 運動会



にゅうがくしき ひ きょうしつ
 入学式の日の教室



きょういくせいど こ がっこう い がくしゅう き
 教育制度...子どもたちが学校に行き、学習するしくみや決まり。
 けいだい じんじや てら ち なか
 境内...神社やお寺のしき地の中のこと。